

心理学科

こころについてのエッセイ<4>

心理学科と資格、就職

川村学園女子大学では、さまざまな資格の取得が可能で、就職活動にも活かされています。よく知られているのは、新しい国家資格の「公認心理師」で、学部4年間と大学院での学修が求められています。このほかに従来からの「臨床心理士」があります。これまで150人以上の卒業生が臨床心理士になっています。これらの臨床系の資格の他にもいくつかの資格がありますので、紹介したいと思います。



まず、大学で心理学科を卒業すると、試験を受けなくとも取得することができる学会認定資格があります。日本心理学会が認定する「認定心理士」は、基礎的な心理学を幅広く学修したことを保証する資格です。大学院や、受験を必要としないので、比較的身近な資格と言えるでしょう。これまでも卒業生が、会社で仕事をする中で心理士としての素養や知識を確認する必要を感じたり、会社から求められて、あらためて認定心理士の資格を学会に申請したケースがいくつもありました。



ほかにも、心理学で重視されている統計学やデータ分析の知識を活かす資格があります。近年、世の中で重視されている「データサイエンス」に関わる資格で、社会調査協会が認定する「社会調査士」という資格です。心理学科の学生さんたちは、1年生の時から統計やデータ分析の方法を学んでいます。心理学では、「心」という目に見えない対象を扱うために、実際の人の行動や意識を、調査や実験、検査を通して理解する必要があるからです。これらの学修は、他学科では学ぶことができないので、心理学科の強みとなっています。その強みを活かす資格として社会調査士の資格取得が可能となっています。心理学科が指定した科目を受講することで取得可能で、受験などは不要です。



このほかにも「医療秘書実務士」など、さまざまな資格を取得して活躍している学生さんたちがいます。このような資格取得を通して学んだ経験と知識は、就職活動に活かされるだけでなく、長い人生でみなさんの生きがいとしても意義深いものとなることでしょう。



鵜沼 秀行（認知心理学）